

帯広畜産大学同窓会報

第28号 令和3年9月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

会長挨拶

帯広畜産大学同窓会会長
西田 譲
(昭和51年草地)



会員の皆様には、コロナ禍にあつてご苦勞も多いことと推察いたしますが、いかがお過ごしでしょうか。同窓会の活動も多くの影響を受けており、一日も早いコロナの収束を願うばかりです。

本年は母校創立80周年です。心からお祝い申し上げます。創立80周年を記念して、辻副会長と畜大生協のご尽力により、逍遙歌を印字したガラス製酒器と碧雲蔵のお酒のセットが出来上がりました。碧雲蔵は、日本初の大学構内日本酒蔵で、今は学生寄宿舎と呼ばれている碧雲寮から奥田学長が命名されたと伺いました。碧雲の名がキャンパスに残ることに碧雲寮OBとして感慨もひとしおです。本来であれば、皆様とご一緒に創立80周年をお祝いするはずでしたが、コロナ禍のために叶いません。どうか、ご家庭でご家族と、あるいはお近くの同窓生と、この酒器セットで祝杯を挙げていただければ幸いです。

昨年の本会報でお知らせしました困窮学生への同窓会の支援策については、幸いにも今のところ使わないで済んでいます。学生にとって大変な状況に変わりはありませんので、本年度も支援策を備えています。

また、畜大基金へのご協力を同窓会としてもお願いしているところですが、昨年度は寄附の件数・金額ともに増加し、授業料・入学料の免除や学資の給付に活用されたと伺っています。皆様の温かいご支援に心からお礼を申し上げます。これからもよろしくお願ひいたします。

来年4月には、帯広畜産大学、小樽商科大学、北見工業大学が経営統合して新しい法人が発足します。農学、商学、工学を担う三大学の強い連携により、母校がさらに魅力溢れる大学になるものと大いに期待しています。

最後に、皆様のご健康と益々のご活躍を祈念します

とともに、来年こそは、ホームカミングデーや全国の同窓会支部の集いの場で皆様にお会いできることを楽しみにしています。

学長より

大学の近況：
コロナ禍の渦中から

帯広畜産大学学長
奥田 潔
(昭和52年獣医)



昨年と同じタイトル「コロナ禍への本学の対応」を意識して本稿を書かねばならない状況にやりきれない思いで一杯です。これまで全国各地で開催される同窓会に顔を出ささせていただき大学の近況を直接お伝えすることができたのですが、今年は開学80周年という記念すべき年にもかかわらず直接お目にかかりご報告する機会を持たず、大変に残念に思っています。この書面を借りまして大学の近況をお伝えしたいと思います。

- ・ 昨年は実施できなかった卒業式と入学式ですが、今年はお両親をはじめとするこれまで支援してこられた方々のご出席は叶いませんでしたが、学内2会場に分散し密を避ける形で挙行了しました。
- ・ 講義は、オンラインと対面のハイブリッド型を中心に行っています。大学は勉学のみであるだけでなく、対面で学友や先生と意見を交わすことから生まれる価値観の違いや多様性の認識にこそ大きな意味があるに違いありません。そこで、講義や実習は学籍番号の奇数、偶数グループに分け密を避ける工夫をしながら極力対面で実施しています。さらに人間形成の場という意味で課外活動も重要な意味を持っていることから、感染防止策を講じ一定のルール下で活動出来るようにしています。
- ・ 今年で開学80周年を迎えます。しかし、コロナ禍の中でもあり記念式典は実施せず、記念事業として2015年にノーベル物理学賞を受賞された東京大学宇宙線研究所長の梶田隆章先生に「神岡の地下から探る宇宙と素粒子」と題して、オンラインでご講演いただきました。宇宙線や素粒子に関して

なじみのない私たちにも分かり易くご講演いただきました。ご講演の後には数多くの質問に対し約30分間に渡り丁寧にお答えいただき、現役の学生達にとって知的好奇心を満たす生涯忘れることのないインパクトになったと思います。視聴者は在校生、教職員、そして一般市民も含め1021名にのぼりました。また、開学80周年記念事業として、現在記念誌刊行の準備を進めています。

- ・昨年、学内に建設された酒蔵「碧雲蔵」はお蔭様で皆様に愛される酒蔵へと成長しつつあります。名杜氏の川端慎治氏には客員教授として応用微生物学の一コマ「日本酒発酵」を講義していただき、後期には実習の一コマも担当していただきます。また、川端杜氏の指導下で学生が酒造りに挑戦し、今秋には学生が醸した日本酒《碧雲》が生協でのみ販売される予定で、その際には同窓会会員向けの特別パッケージも用意されると伺っています。

来年度のホームカミングデーでは、「碧雲蔵のお酒」で皆様と乾杯できることを信じています。皆様のご健康を心からお祈りしております。

2020年度総会のご案内

日頃、同窓会活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

今年は総会を開催する年ですが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、対面での実施を見送り文書開催とします。

議題は同窓会会長、副会長の人事になります。同封の「帯広畜産大学同窓会2020年度 総会資料」をご熟読いただき、議題1に関しましてご審議ください。議題の承認についてですが、文書開催のためややこしくて恐縮ですが「議題を承認いただけない場合」のみ同封しました議題承認のハガキの「承認しない」に○を付け、氏名、卒業年、学科等をご記入の上、ご返送ください。

承認する場合にはハガキは返送しないでください。

例年の総会での報告事項である予算、監査、事業、役員人事（会長、副会長を除く）に関しては10月中旬に役員会・代議員会を開催します。代議員会で承認されましたら、同窓会ホームページで報告する予定です。

ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

帯広畜産大学同窓会
事務局長 岸本 正

酒器・日本酒セット販売開始のお知らせ

帯広畜産大学創立80周年を記念しまして、畜大生協より酒器・日本酒セットが販売されます。本報の会長挨拶にもありますように、ガラス酒器と大学構内に建設されました「碧雲蔵」で醸造された日本酒の組み合わせとなります。

80周年記念で販売されます限定セットは、学生が実習で仕込んだ純米吟醸酒「碧雲」との組み合わせになり、同窓会会員の先着500名様に限り特別価格で販売します。

申込等の詳細につきましては、同封しました畜大生協からの「酒器・日本酒セット販売」の案内をご覧ください。この機会に是非ご購入下さい。

帯広畜産大学同窓会
事務局長 岸本 正



開学80周年記念酒器・日本酒セット（写真はイメージです）

支 部 た よ り

関東同窓会の近況

関東支部長

澤 田 拓 士

(昭和45年獣医)



コロナ禍は流行発生から1年6ヵ月が過ぎてもその終息は見えず、同窓の皆様におかれましてはご苦勞が続いていることとお見舞い申し上げます。

今年6月19日に予定していた2021年度関東同窓会総会・懇親会は昨年に続き又もや開催を断念することとなりました。誠に残念です。上記開催については幹事・役員の見解をメールで集約し、3月中に中止を決定しました。4月末の北区赤羽会館での幹事会は開催を躊躇しましたが、昨年8月以来幹事・役員が顔を合わせていない状況から意思疎通を図るために会館のコロナ対策マニュアルを遵守した上で開催し、会費納入状況の確認、総会・懇親会中止のお知らせ、総会提出予定議案の吟味などを行いました。その結果、今回は書面議決書として返信用葉書を同封し、総会提出予定の議案に対する賛否を問うこととしました。また総会関係資料とともに会員への情報提供として、奥田学長から送付頂いた本学のニューノーマル体制（オンライン授業等）や道内3国立大学運営統合など本学の近況資料も同封することとし、5月末に全会員に郵送しました。その際少しでも母校の雰囲気を感じてもらおうべくこれらの資料を畜大生協から購入した懐かしい畜大牛乳のラベル“低温殺菌 畜大牛乳…”を図案化した緑のクリアファイルに入れて送りました。

会員からの返信結果は、総会提出予定の第1号議案（2020年度事業・決算報告及び会計監査報告）、第2号議案（2021年度事業計画案及び予算案）ともほぼ全員の賛成を得ましたが、予算案については、2年続けての総会・懇親会中止などこれまでより支出が大幅に減る状況で例年通り会費の納入をお願いするのは心苦しい限りでした。一部の会員からのご意見もあり、今後、予算の用途については慎重に検討しなければならないと考えています。

関東同窓会員の活躍情報ですが、二人の開業獣医師を紹介します。夏場の皮膚病対策の重要性を説く東京江東区「犬と猫の皮膚科」の村山信雄さん（H6V）（毎日新聞くらしナビ、2019年7月25日）、そして、不要なワクチン接種による犬の負担を軽減するために抗体検査を実践し、推奨している目黒区「安田獣医科医院」の安田英巳さん（S49V）です（十勝毎日新聞、2020年11月24日）。また、首都圏には帯広・十勝出身

者や関係者らの集う「東京帯広会」というふるさと会があります。昭和45年に創立され、今年で50周年を迎えました。会を運営する役員16名のうち会長の森田邦雄さん（S41V）、顧問の鈴木一郎さん（S25A）のほか理事5名が関東同窓会員という顔ぶれです。当会も賛助会員として参加し、総会・懇親会には多数の同窓が出席して会を盛り上げています。

来年の関東同窓会総会及び懇親会は2022年6月18日（土）17:00～銀座ライオン7丁目店で開催予定です。特別講演は引き続き元明治大学農学部教授の竹迫 紘さん（S42D）に土壌の話をお願いしています。来年こそは無事開催できて多くの同窓に出席して頂きたいです。

今後の幹事会についてはオンライン開催（Zoomミーティング）も検討が必要との提案から数名でテストミーティングを実施しましたが、現役世代へのワクチン接種が拡大してコロナ禍が終息に向かい、オンラインが不要になることを願っています。同窓の皆さまのご健康とご活躍、母校の発展を祈念します。

滋賀県支部の近況

滋賀県支部長

須 藤 正 之

(昭和43年獣医)

コロナの感染拡大が始まった2020年3月以降滋賀県支部会は開催できておりません。全国の同窓会支部も同じ状況かと思いますが、滋賀県でも本年5月からようやくワクチン接種が始まり、一日も早い「コロナ禍」の終息が待たれるところです。

さてこんな状況ですので、支部の活動報告というよりは、滋賀県支部と、畜大OBが働く「滋賀」を紹介させていただきます。

滋賀県は、出身テレビタレントなども少なく、どちらかというと目立たない県ですが、日本一の大きな湖「琵琶湖」を中央に置き、その周囲を囲むように町や田畑が広がり、さらにその外周を山地が取り囲んでいます。

「滋賀県って琵琶湖しかない。」と思われている方も多いようですが、最近の統計では、なんと男性の平均寿命が日本一となっているとか。

ところでみなさんご存じの日本三大和牛の一つと言われる近江牛ですが、肉用牛の県内飼育頭数は全国34位の1万7千頭、北海道の53万6千頭の3%程度だそうです。ところが飼養農家一戸当たりの飼育頭数は219.8頭と、北海道の223.3頭に次いで全国2位。さらには牛肉の年間消費支出金額は、滋賀県が全国1位の38,742円。近江牛は高級ブランドの牛肉ですが、その値段の高さとも関係があるのでしょうか。

大阪支部近況

大阪支部事務局

藤崎 泰造

(平成元年畜産環境科学)

こうした滋賀県に就職した畜大OBのうち、現在滋賀県支部に連絡をいただいている方は37名ございまして、まだご出席いただけていないものの、2名様は滋賀県在住？との情報を得ています。

現在の滋賀県支部メンバー37名のうち、21名が獣医学科卒業生で、獣医師として開業されている方、近江牛にかかわる公的機関や施設にお勤めの方、製菓会社などで活躍されている方などです。

滋賀県で忘れてはならないのが栗東市にある「JRA栗東トレーニングセンター」です。ここでは「馬」にかかわる仕事に獣医師のみならず、多くのOBが携わっています。

支部メンバーには、獣医学科以外では、環境学科の卒業生が多くなっています。

滋賀県支部会として交流する中で思うことは、畜大卒業生の多くが「畜大現役時代の経験を活かされている。」ことです。それは、必ずしも授業で学んだことだけではなく、部活であったり、遊びであったりと多岐にわたりますが、毎日の仕事や生活のどこかににじみ出ているようです。

平成22年度以降の卒業生はまだ入会がありません。滋賀県在勤・在住の方は是非ご連絡ください。(情報があれば教えて下さい。)

さて、コロナが収まれば中断中の支部会を再開します。

畜大には「碧雲蔵」という立派な酒蔵ができたとか。同窓会報やHPから情報は入ってきていますが、「現物」の入手は滋賀県ではほとんど無理です。でも支部会の再開には是非とも「碧雲蔵」醸造の純米酒で「乾杯」といきたいものです。



滋賀県支部長：須藤会長（前列右から2番目）
コロナ禍以前に行った支部会より（H30）

皆様コロナ禍で窮屈な日々をお過ごしのことと存じます。ここ大阪も例外ではありません。イソジンに期待という意見もありましたが、それは濃厚接触時の儀礼ではないかという否定的見解もあり、恒例のBBQも忘年会も自粛することとなりました。同窓会活動は出来ていないので、僭越ですが私個人の動静を開陳させていただこうと思います。

2015年に50歳を目前に脱サラし経営コンサルタント業として起業。ボランティアで通っていた岩手県大船渡市に協力工場を得て恩師中野益男先生を顧問に同級生の白石雅文君（H1環境）をスタッフに迎えてサプリメントの製造販売に着手。競走馬用犬猫用を主に販売しておりますが、応用して地域の未利用資源を活用した新規事業開発を進めたい考えです。現在まず三陸地域の産学官連携によるサクラマス養殖事業開発に参画中。コンサル業ではカヌーの小林茂雄さん（A60）のご紹介で南富良野町幾寅の道の駅再開発計画作成をお手伝いさせていただきました。プライベートでは大阪同窓会会長の中川欣三さん（D41）帯広の加藤克明（D41）氏原守男（D47）さんに誘われペースというバンドの応援をしていますが彼らの歌う「燃えろペガサス」は帯広競馬場のテーマソングに採用されています。

そしてこのたび上川郡新得町に素敵な廃校を取得する機会に恵まれました。山羊と鶏を飼おうか山ブドウ畑を作ろうとかか考えていたら、近所の方が訪ねて来られここで何するのですかと、聞けば彼も後輩畜大生。昨秋からはハンティング趣味の碧雲寮310室後輩の塚本有記君（H2D）が銃を持って大製菓メーカーから離脱合流。35年経た現在も後輩の作ってくれる「やきっぺ」を美味しくいただいています。もう一人3S後輩北島君（H2A滋賀県造園業）が遠路やってきては庭づくりを手伝ってくれています。コロナ禍でも公私に多忙にしていたところ近頃少しおとなしくなった家内（62A）が、今後は僕の仕事を手伝ってくれるとか申しています。振り返ればつくづく畜大生繋がりの中で生きている自分がいます。ありがとう帯広畜産大学！

会員の声

杜の都から近況報告

農林水産省東北農政局
春名 由佳里
(平成18年畜産環境科学)

人生というのは何があるか分からないもので、まさか自分が公務員になるなんて、大学時代には想像もつきませんでした。

私は平成18年に畜大を卒業した後、一度は地元の千葉で就職しましたが、転職、ニート、フリーターを経て平成24年に農林水産省の職員になりました。農林水産省に入ってから熊本→東京→仙台と、数年に一度引越しをしています。引越しは嫌！という方も多くいらっしゃると思いますが、その土地に住まないといけない雰囲気や、そこにしかないおいしいものを味わうことができるのはとてもいい経験になります。

部署だけの異動で引越しを伴わないものは、これまででいたい2年に1回のペースでありました。異動では、これまでの全く経験のない部署に行くこともあります。最初は大変ですが新しい気付きもあり、ためになることも多くあります。



2015年9月モンゴルにて乗馬(乗ラクダ)体験中の写真

金融関係の部署に異動した時は、初め農業と金融というのがなかなか結びつかなかったのですが、農業であっても続けていくにはお金が必要で、経営感覚ってとても重要なことに改めて気づきました。本当に、お金って大事です。

また、昨年までは研究関係の部署にいたのですが、この時は最新の技術を実際に見る機会がたくさんあり、とても面白かったです。この時に見た技術が実際に畑で動く日が楽しみです。

そうそう、この頃は思いがけないところで畜大関係者に会うことが多くありました。畜大の卒業生の中には、公務員になる方もそれなりにいるので、役所の中では何度か卒業生に会うことはあったのですが、それ以外の場所で会うことが本当に多かったのです。畜大生って、他大学に比べたら数少ないはずなのに、いろんなところにいるんですよ。すごいですよね。

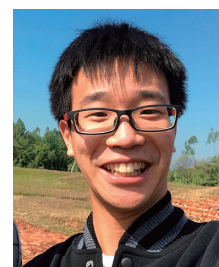
今、私は杜の都仙台に住んでいます。おいしいものも歴史もある素晴らしい街ですが、そろそろ北海道への異動の話が来ないかなあ、とも思う今日この頃です。

商社の仕事紹介

～輸入牧草の安定供給を目指して～

兼松株式会社 穀物飼料部
千葉 拓 紘

(平成25年農業経済学ユニット・国際協力ユニット、
平成27年食品衛生学専攻 博士前期課程)



COVID-19により、今までの生活様式がガラリと変わって早1年以上が経過しました。会員の皆様におかれましては、影響も大きいと思われませんが、いかがお過ごしでしょうか。私の住んでおります東京はオリンピックを控え、畜大卒業生としてはとてもとても厳しい禁酒令の下、せめてもの貢献をと思い、スーパーで国産食品の消費に明け暮れる毎日を過ごしております。(もちろん宅飲みは通販で取り寄せた上川大雪酒造の「十勝」純米です)

私は生まれ育った北海道の農業の発展に寄与したい



アメリカ・インペリアルバレーでの牧草検品移動中、車の外は45℃



アメリカでの牧草検品の様子

と思い、帯広畜産大学の門をくぐりました。しかしながら多感な大学生、国内外で最先端の研究活動の実績のある先生方との講義やゼミ、フィールド重視の実習を通じて、また、大学院では大学のパラグアイ／帯広-JICA 協力隊連携事業に関わらせていただいたことなどもあり、世界の農畜産業に貢献したいと、当初の思惑を超えて視野がかなり広がってしまいました。帯広の地で充実した学生生活を過ごし、より世界の現場に近いと感じた商社である兼松株式会社（旧：兼松江商株式会社）へ入社して現在7年目になる年を過ごしております。

畜大にとってあまりなじみのない（と思われる）商社業界ですので、簡単に兼松株式会社をご紹介します。創業は1889年、日豪貿易の先駆けとなった商社でございます。日本の高度経済成長期とともに、日本企業の海外進出のご支援や国際貿易のお手伝いをさせていただきました。B to C の分野では昔、スポーツブランドの adidas 社やスキーの FISCHER 社の日本総代理店としてご記憶にある皆様もいらっしゃるのではないのでしょうか。現在は電子・デバイス分野、食料分野、鉄鋼・素材・プラント分野、車両・航空分野等を中心に世界36か所の自社拠点と、国内外120社以上の関係会社のネットワークを生かして事業を展開しております。

さて、商社では配属ガチャ（ガチャとはルーレット



アメリカ・ワシントン州のアルファルファ畑

を回すようなものです）と呼ばれる、入社するまで何の商売をするかわからない状態で入社します。幸いにも私は輸入牧草を担当することになり、アメリカ・カナダ・オーストラリアの農家を回って牧草の買付出張し、日本の牧場様に納めさせていただき、という畜大卒業生らしい（？）毎日を過ごしております。2018年には海外研修としてアメリカのシアトルで6か月ほど勤務する機会にも恵まれました。牧場に近い会員の皆様はもしかしたらお見掛けされたこともあるかもしれませんが、Sage Hill 社のアルファルファ／チモシーは我々の商品です。近年は牧草の世界にも中国・中東（ラクダ向け）のマナーが大量に流れてきており、牧草の価格がかなり上昇基調で、需要家の皆様にご負担をおかけしてしまっている状況です。こうした背景もあり、現在、アフリカのスーダンから中国・中東向けの牧草貿易を加速するべく動いています。なんとか既存産地から日本向けの牧草の供給力確保と価格の安定に寄与できたらと思っております。また、バングラデシの NGO と組んでマイクロファイナンスを組成した三国間貿易にも取り組み、途上国の酪農支援につながる動きも進めています。

お客様を回っていると、畜大の先輩にお会いする機会も多くあり、その度に畜大卒として農畜産業への貢献を目指すという初心にかえっております。B to B 企業であり、特に JA の陰に隠れてしまいがちではありますが、黒子の中の黒子として、この業界の発展のために微力ながらも貢献して参りたいと思っております。

After COVID-19はオンラインでいつでも世界中と繋げる（翻訳 AI も優秀になってきています）世界になってきますが、国際的な経済・政治と物流はさらに複雑に多様化してきております。テレビやネットで拡散される前の情報へのアクセスがより重要になってくると思っておりますので、何か最新の情報をお求めありましたら、いつでもお問合せください。



バングラデシ、ボグラ県での輸入牧草利用フィールド調査中

平舘善明准教授が2020年度 日本職業教育学会学会賞を受賞しました

(2020年11月16日)

平舘善明准教授が2020年度日本職業教育学会学会賞を著書「教材にみる岡山秀吉の手工科教育論の特質と意義」にて受賞しました。

本賞は職業教育研究の一層の発展を図るため、研究及び実施において顕著な業績をあげた者に授与される賞です。この度の受賞は平舘善明准教授の著書が戦前に日本の小学校手工科教育論の到達水準を見出すために、「手工教育の確立者」とも評される岡山秀吉に着目し、「技術および労働の世界での手ほどき」を行う教育意義・役割について歴史的事実に基づいて解明したものであり、職業・技術教育研究へ多大なる学術的貢献が認められるとともに、「復元による教材解釈」という独創的な研究手法によって、歴史研究の新たな地平を拓いていると高く評価されたものです。



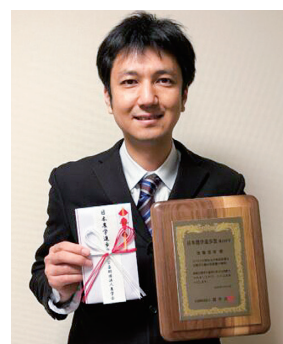
後藤達彦助教が2020年度 (第19回)日本農学進歩賞を受賞しました

(2020年12月2日)

後藤達彦助教が2020年度(第19回)日本農学進歩賞を受賞しました。

本賞は人類と多様な生態系が永続的に共生するための基盤である農林水産業およびその関連産業の発展に資するために、農学の進歩に顕著な貢献をした者に授与される賞です。この度の受賞は後藤助教の「ニワトリの卵および成長形質を支配する遺伝的基盤の解明」についての研究が高く評価されたものです。

受賞理由は「卵および成長形質に関わる遺伝子座の解明」ならびに「卵の構成成分に関わる遺伝的要因の解明」であり、後藤助教の研究は量的形質に関する遺伝的基盤の解明、世界の食料危機の緩和に向けた畜産物の増産ならびに高品質化に貢献するものであると期待されています。



「女性獣医師等就職支援研修」について

獣医学研究部門長

小川 晴子

日本獣医師会では、農林水産省補助事業として実施されている「令和3年度獣医療提供体制整備推進総合対策事業」において、「女性獣医師等就職支援研修」を行なっています。本研修では、女性獣医師等の職場復帰、再就職、就業継続に必要とする最新知識の習得や獣医療技術向上の機会を提供することを目的としています。対象者は家畜保健衛生所、動物検疫所、動物衛生研究部門、民間の家畜診療施設等において研修を受けることができます。詳細情報は、「女性獣医師応援ポータルサイト (<http://www.nichiju-shien.com>)」で取得できますので、是非ご活用ください。

事務局だより

名簿完売のお知らせ

平成23年11月に発刊しました、帯広畜産大学同窓会名簿ですが、2021年8月をもちまして完売となりました。皆様にご購入いただきまして感謝申し上げます。

同窓会事務について

同窓会事務局は、事務職員の配置を取りやめ、その作業を帯広畜産大学生協に委託しております。なお、電話、FAX等は、これまでと同様ですので、お問合せは下記にお願いします。

同窓会事務局（平日8：30－18：00）

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学内

Tel 0155-49-5996 FAX 0155-49-5996

E-mail dousou@obihiro.ac.jp

HP <http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/>

逍遙舎の使用について

「逍遙舎」は、同窓会員、職員、学生が相互の懇親などの交流の場として使用できます。利用を希望される方は、大学総務課にお申し込みください。

問い合わせ先 総務課総務係 49-5216

（平日 8：30－17：15）

HP <http://www.obihiro.ac.jp/alumnus/syouyousya.html>

帯広畜産大学同窓会 会報第27号の訂正のお願い

日頃、同窓会活動への御理解と御協力に感謝申し上げます。

昨年11月下旬に郵送いたしました帯広畜産大学同窓会会報におきまして、同窓会事務局での原稿作成時の入力ミスにより、訃報の逝去者の祐川金次郎様（旧教員）を「助川金次郎」と掲載しました。

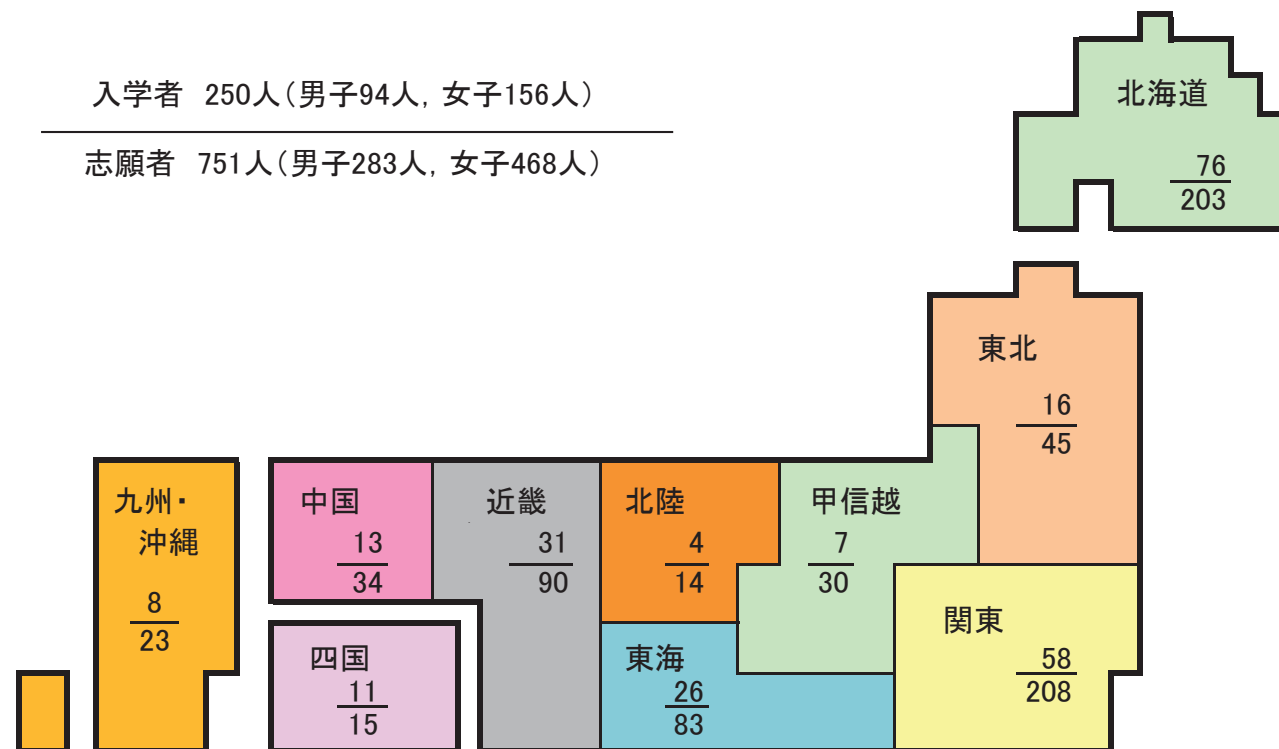
お名前を間違えて掲載し、多くの方に多大なご迷惑をおかけしました。このたびの件につきましては、当方の入力ミスであり深くお詫び申し上げます。

帯広畜産大学同窓会事務局長 岸本 正

◆ 令和3年度学部地域別志願者・入学者状況

入学者 250人(男子94人, 女子156人)

志願者 751人(男子283人, 女子468人)



その他

高卒認定試験 0/2

外国の学校等 0/4

文部科学大臣の指定した者 0/0

認定 0/0

在外教育施設 0/0

専修学校高等課程 0/0

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。[敬称略]

工藤英吉 (S32 総合農学科)	島本一 (S20年 獣医畜産専門学校)	中村則弘 (旧教員)
内田欣夫 (S18 高等獣医科)	中川昭 (S23年 獣医畜産科)	入矢狷介 (S43年 草地学科)
高木信紘 (S42 獣医学科)	堀田宏一 (S30年 酪農学科)	佐野幸男 (S31年 獣医学科)
Horiuchi Syoichi (S35年 総合農学科)	川岸武 (S35年 獣医学科)	藤澤健二 (S20年 獣医畜産専門学校)
長尾章郎 (S38年 獣医学科)	佐久間五三三 (S23年 農芸化学科)	渕澤康夫 (S19年 獣医畜産専門学校)
小室健 (S22年 獣医畜産科)	佐藤徳一 (S37年 酪農学科)	梅根栄一 (旧教員)
福永和男 (S34年 酪農学科)	脇本隆 (S24年 酪農学科)	中垣一成 (S37年 酪農学科)
笹原勝博 (S41年 農産化学科)	小松二郎 (S23年 獣医畜産科)	矢澤睦 (H5年 農産化学科)
西本義典 (S33年 獣医学科)	中林成浩 (S58年 畜産環境学科)	松井孝志 (S29年 酪農学科)
天野利雄 (S30年 総合農学科)	佐々木裕康 (S63年 農業工学科)	竹田茂 (S23年 農芸化学科)
神谷忠一 (S30年 総合農学科)	持田雅敏 (S25年 獣医畜産科)	小出裕子 (S52年 別科)
佐々木智 (S44年 獣医学科)	田中啓介 (S34年 獣医学科)	上野昌丕 (S19年 獣医畜産専門学校)
中井成也 (S23年 獣医畜産科)	輿水成夫 (S40年 酪農学科)	田村哲 (S42年 獣医学科)
藤原三典 (S25年 酪農科)	北村亨 (S28年 酪農学科)	丸子正美 (S24年 農専酪農学科)
栗田良雄 (S47年 草地学科)	前川邦夫 (S30年 総合農学科)	豊田早苗 (S19年 獣医畜産専門学校獣医)
望月昭治 (S40年 総合農学科)	千葉宣一 (旧教員)	山本邦男 (S33年 総合農学科)
河岸芳浩 (S50年 酪農学科)	土谷孝志 (S23年 獣医畜産科)	米森清 (S29年 酪農学科)
小林豊 (S33年 酪農学科)	成田吉信 (S29年 酪農学科)	草刈弘 (S34年 酪農学科)
高島秀雄 (S31年 総合農学科)	中野義夫 (S36年 酪農学科)	三浦達朗 (S49年 畜産学研究科化学専攻)
見上彪 (旧教員)	三宅勝 (旧教員)	井上雄介 (H元年 畜産経営学科)
平野八代 (S22年 獣医畜産科)	川上雅靖 (S35年 獣医学科)	前多修二 (旧教員)
能條昭二 (S30年 酪農学科)	満山暹 (S35年 獣医学科)	
遠藤晁司 (S25年 農学科)	服部和則 (S40年 獣医学科)	

*2020年8月から2021年8月までに、本部事務局にご連絡をいただきました。

編集後記

帯広畜産大学同窓会報第28号をお届けします。

今年と同窓会総会の開催の年です。例年ですと8月初旬ならびに10月の総会前の役員会・代議員会で総会の準備をします。しかし、今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響で代議員会等は文書による開催とし、さらに会報内でご案内しましたように総会も文書開催としました。会員の皆様にはお手数をおかけしますが、総会の議題である会長、副会長の人事についてハガキでの承認の返信をお願いします。「承認しない場合のみ返信」していただくという、ちょっとややこしい方法ですがご協力をお願いします。

昨年の会報の1面で紹介しました本学キャンパス内の上川大雪酒造「碧雲蔵」で醸造された日本酒と、逍遙歌が入ったガラス酒器を組み合わせた、開学80周年記念の「酒器・日本酒セット」が生協から販売されます。同窓会会員の皆様には、限定500セットですが特別価格で提供されます。同封の申込書をご参照ください。

今年も大学主催のホームカミングデーが中止となりました。来年こそは感染症の状況が改善され、各種行事が開催されることを切に願います。

(文責：岸本正)

帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定
平成5年10月16日改訂
平成7年10月14日改訂
平成9年10月18日改訂
平成11年10月23日改訂
平成13年10月6日改訂
平成19年10月13日改訂
平成25年10月5日改訂

第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。
- 第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 同窓会報の発行
 2. 同窓会名簿の管理
 3. 帯広畜産大学の後援
 4. その他本会の目的を達成するための必要な事業
- 第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

第2章 会 員

- 第5条 本会は次の会員を持って組織する。
1. 正会員
 - 1) 帯広畜産大学及びその前身の卒業生
 - 2) 帯広畜産大学畜産学専攻科、大学院畜産学研究科、及び別科修了生
 - 3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したもの
 - 4) その他代議員会で認めたもの
 2. 準会員
帯広畜産大学、大学院畜産学研究科、草地専修科、岐阜大学大学院連合獣医学研究科および岩手大学大学院連合農学研究科の学生
 3. 特別会員
帯広畜産大学およびその前身の同窓生以外の教員
- 第6条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。
- 第7条 会員の除名および資格の喪失
1. 本会の名誉を傷つけたり、本会の目的に反した行為を行った会員は、代議員会の決議により、除名とする。
 2. 当該会員が死亡したときは、その資格を喪失する。

第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。
- 第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局長1名、庶務担当3名、会計担当3名、名簿担当3名および監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。
- 第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員および代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。
- 第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を

補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

- 第12条 事務局長は庶務担当役員と共に会務を担当する。
- 第13条 会計担当役員は会費を徴収し、本会の資産の管理と予算の適切な執行を担当する。
- 第14条 名簿担当役員は同窓会名簿の管理を担当する。本役員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することができる。
- 第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。
- 第16条 役員会は会長が召集しその議長となる。本会は構成役員の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。
- 第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。
- 第18条 代議員会は会長が召集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第19条 代議員会は次の事項を審議する。
1. 予算及び決算
 2. 会費の変更
 3. 重要な資産の処分
 4. その他の重要な事項

第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めるとき、または10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときこれを開くこととする。
- 第21条 総会は会長が招集し、その議長は会員中より総会で選出する。
- 第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。
1. 会則の変更
 2. 役員人事
 3. 資産目録
- 第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。
- 第26条 会員は終身会費として入学時に20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。なお、準会員については、何らかの事情で中途退学した場合、本人からの請求があれば返金するものとする。
- 第27条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

第6章 支 部

- 第28条 本会はその目的を達成するために、必要があるときは支部を設けることができる。
- 第29条 支部を設置しようとする者は、その代表者から支部会則、役員等の資料を添えて本会に届け出なければならない。なお、支部活動については、支部会にゆだねるものとする。

付 則 この会則は平成25年10月5日から施行する。